

【深泥池水生生物研究会第 268 回打ち合わせ会報告】

開催日時: 2024年11月10日(日) 14:00～16:00 参加者: 竹門康弘、成田研一、塩田貞子、大村麗奈、山岸秀明、田竈誠一、高井利憲、宮本水文(計8名:順不同敬称略)

記録: 高井利憲

1. 深泥池天然記念物指定100周年(2027年)に向けて
 - 年度毎に実施するタスクを予め決めていきたい
 - 市にも文化庁にも言っている(竹門先生)
 -
2. 高校の授業での深泥池の利用について
 - 11月3日の水質調査に参加された高校の先生から、深泥池を授業に利用したい旨相談があった
 - ² 水質、プランクトンの調査を予定
 - 調査時に南岸吐水口から流れ出た水を採取するようお願いすることとなった
 - ² 今年度の利用計画に含まれていないため
 - ² 以前にも同様の相談があり、そのときも上記のように返事したため
3. ドローンについて
 - 本日深泥池南西岸でドローンを飛ばしている人がいた
 - 深泥池は規制エリアではない
 - 今後、本研究会の作業日の予定などはなるべく小屋横の掲示板などに掲示する
4. 地元の人の意識について(貴船神社分祠のメ縄作りをしていた方々のヒヤリング結果)
 - 地元(真の)の方々に、本研究会の活動などに理解が得られているとは限らない
 - 子供達の遊びや釣り場として深泥池と身近に感じていた地元の方々が、天然記念物指定により、自分たちのものではなくなったという印象を持たれているようだ
 - 今後、地元の方々から深泥池でどのような遊びをしていたかなどを聞いて再現する機会をもつとよいかもしれない
 - ジュンサイ食事会に地元の人々を招待して開催してもよいかもしれない
5. 11月3日水質調査報告
 - 参加人数26名
 - ² 過去2番目に多い(1番は34名のときがあった)
 - 目標通り暗くなる前に完了できたのはよかった
 - ² 始めたのが早かったのでトータルの時間は短くなっていない
 - 思いのほか水質がこれまでと違った
 - ² 浮島の中でも極端に低いpHはなかった(直前に雨が降ったためその影響が大きい)
 - ² 12月ぐらいには結果をまとめたい
 - その他気づき
 - ² シカが減っている(特に若い個体)(去年、一昨年ぐらいから)
 - 去年有害駆除を実施したという情報がある
 - ² 浮島も変わっている
 - シカに押さえられていたものが勢いを増している
 - いろいろな植物がイヌノハナヒゲのサイズになりそれらが浮島を覆い始めている
 - いい兆候ではない→シカと植生について記録を残していく必要がある
6. オオバナイトヌキモ除去作業計画
 - 12月2日(月)に回収をお願いすることになった
 - そのため12月1日(日)に袋詰め等を実施することになった
 - 水路開削も必要なので実施する

7. 来年度のきょうといきものフェス(9/27・28)に向けた準備活動
- 今年度の出し物の中で、タヌキモやオオバナイトタヌキモの捕虫囊は評判がよかった
 - 2 来年度は例えばタヌキモの捕虫囊に何か入る様子をリアルタイムでディスプレイなどに映して見せるなどできるとよいかも
 - 2 オオバナイトタヌキモが実際に何を食べているのかを調べるのも研究課題になりうる
 - 2 ぶっつけ本番でできるものではないため、来年度は活動計画に含め、何ヶ月か前から準備する
8. 文化庁の方との意見交換と池岸整備などについて
- 文化庁専門官の江戸さんと深泥池で意見交換する機会があった(竹門先生)
 - 2 浄水谷出口に杭を打ってミズゴケを守っている経緯などを説明した
 - 2 木道程度ならば大きな現状変更にあたらず京都市の判断で設置可能とのこと
 - 来年に向けて木道も整備する方向で調整及び準備する
 - 2 池岸の杭も朽ちてきている
 - 2 ヒノキは切ってすぐ使えない
 - 2 今年冬の作業でやっていきたい(2月ごろのイメージ)
 - 深泥池全体の保全利用計画
 - 2 全体的な保全の計画などは、保全利用委員会を再度立ち上げる必要がある
 - 2 京都市は本研究会の活動実態を全て把握しているとは限らない
 - 文書で残して報告することが重要
 - 毎年行った活動内容を簡単な文書にまとめてはどうか
9. 京都市の作業時の連絡体制
- 京都市が実施する外来植物除去作業の前には事前に本研究会に連絡してほしい旨伝えているが、連絡が無いことがある
 - 現状、本研究会の窓口が明確ではない可能性がある
 - 今後、窓口を明確化し、連絡体制をシステム化していく努力をするべき
10. オオバナイトタヌキモの捕虫囊の観察
- 田籠さんがオオバナイトタヌキモの捕虫囊の毛の写真を撮った(宮本)
 - 2 タヌキモと違ってとても長く興味深い
 - 2 今後も、時系列的な変化など継続的に観察していく
11. 今後の予定
- 11月16日(土)、17日(日)、23日(土)、24日(日)オオバナイトタヌキモ及び水路開削作業
 - 12月1日(日)9:00-12:00オオバナイトタヌキモ袋詰め&計量作業
 - (12月2日オオバナイトタヌキモ回収)
 - 12月7日(土)竹門先生講演含むイベント
 - 2 京都府立京都学・歴彩館にて「京都丹波 あゆの魅力発信シンポジウム」
 - 12月8日(日)9:00- 小屋整理
 - 2 同日も竹門先生講演含むイベントあり
 - イオンモール高の原にて「里山・里海つながるフェス」
 - 12月22日(日)14:00- 打ち合わせ会兼忘年会

以上